

うるおいのある街づくりを目指し、市と市民が共同で取り組む。自治会と小学校により街路樹の管理および歩道の清掃が行われている。小学生の書いた花をデザインしている。



「けやき通り」は、日立市の市街地を南北に走る幅員三〇メートルの主要幹線道路で、延長三七〇メートルのうち五四〇メートルがケヤキ並木となっている。

このケヤキ並木は、戦災復興事業の都市計画街路として昭和二七年頃に植樹されたもので、現在は樹径が三〇、五〇センチの大木となり、春には新緑

を秋には紅葉が市民を楽しませている。ケヤキの維持管理には地域住民が参加し、緑豊かな街づくりに励んでいる。

また、「けやき通り」付近には、幼稚園、小学校、高校があり、通園・通学をはじめ一般市民の通行が多いことから、歩道整備にあたっては、並木にマッチしたカラー透水性コンクリートを使用して、小学生が描いた花をデザインしたブロックを配置した。

「けやき通り」は、道路整備に市民参加を促し、愛する郷土、伸びゆく日立を象徴する施設として、都市の景観形成と快適な生活環境づくりに寄与している。



データボード⑤

- ① 茨城県日立市若葉町
- ② 日立市役所 ☎ 0294-22-3111
- ③ ケヤキ並木：延長700m、幅員7.5m×2
縁石工：延長2,017m、植栽1式
歩道カラー舗装：延長400m、面積2,970m²
- ④ コンクリート縁石、サツキ、カラー透水性コンクリート
- ⑤ 日立まつり、日立さくらまつり、かみね公園行燈まつり